

第 77 回国民体育大会（栃木国体）
トライアスロン正式競技 東京都代表選考基準

2022/05/19 改定

[1] 出場資格と選手数

以下の2つの条件を満たす男女各2名。

- 1) 平成16年4月1日以前に生まれた者で2022年度JTU登録会員又はJTU学生連合登録会員。(ふるさと制度を利用する者は東京都登録以外でも可能)
- 2) 東京都連合所属選手として公益財団法人日本スポーツ協会国体参加資格基準を満たす者。

[2] 出場基準

- 1) 2022年度の「第33回 東京都トライアスロン選手権大会」において、上記出場資格を有する男女各上位1名の選手を選出する。
- 1) 第14回日本スプリントトライアスロン選手権(2022/蒲郡)において、上記出場資格を有する男女各上位1名の選手を選出する。
- 2) 上記対象選手が辞退した場合、ロールダウンを行う。(対象トップの選手のタイム8%以内まで。)
- 3) 上記を満たした選手がすべて辞退した等の場合は、(一社)東京都トライアスロン連合強化委員会で選考する。
- 4) 予備登録候補選手は各大会の次点選手を男女各1名ずつ、計4名選出する。
予備登録候補選手の本大会への登録優先順位は2021/10/01～2022/06/30の認定記録会タイムとする。

※代表選考会が開催できなかった場合

選考会にエントリーした選手の内以下の優先順位で選考する。

- 1) 2大会の内どちらかが開催された場合は開催された大会の順位
※東京都選手権エントリー締め切り後に蒲郡大会が中止となった場合、蒲郡大会エントリー選手は東京都選手権にエントリー可能とする。
- 2) 第27回日本トライアスロン選手権(2021/宮崎)の順位
- 3) 第32回東京都トライアスロン選手権(2021/渡良瀬)の順位

※「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置の適用」について

- ・特例対象選手からの選出は男女各1名までとする。
- ・特例対象選手が選出された場合もう一名の代表は予選会で選出された選手から2021/10/01～2022/06/30の認定記録会タイムから選出する。

[3] 「ふるさと制度」利用の補足

現在他道府県に在学、在勤、在住の選手で東京都から『ふるさと制度』を利用して国体出場を希望する選手は、東京都選手権開催以前にその登録が必要となります。『ふるさと制度』利用希望の選手は5/31までに東京都トライアスロン連合事務局へご連絡をください。なお、『ふるさと制度』の詳細については以下をご参照ください。

<http://www.japan-sports.or.jp/kokutai/tabid/188/Default.aspx>

以上